

## 第1回秋田市マイタウン・バス南部線 河辺地域運行協議会議事要旨

開催の日時	平成22年4月10日(土) 午前10時30分～午後0時15分
開催の場所	秋田市河辺地域活動センター 3階第1会議室
委員数	15名
出席委員	12名
議事	(1) 秋田市マイタウン・バス南部線の導入経緯について (2) 秋田市マイタウン・バス南部線河辺地域運行の路線および時刻について (3) 運行実績について (4) 今後のスケジュールについて
事務局	1 開会 2 秋田市マイタウン・バス南部線運行協議会設置要綱について説明 3 委員の紹介 4 会長選任について
委員	高橋和美委員を推薦する。
委員一同	(異議なし)
会長	挨拶 会長代理に岡部委員を指名する。 議題に入る。5(1)～(3)まで事務局より説明願う。
事務局	(資料に沿って説明)
会長	質問等ないか。
委員	年配の人が増え、この先免許を返納する人も出てくると思うので、利用者が増えるのではないかと考えている。
委員	土日の買物時間、御所野へ向かう便がない。土曜日だけでも運行できな

		いか。御所野からの折返し時間が短すぎ、すぐ帰られない。
事 務 局		利用者のニーズを把握するため、アンケートを行う予定でいる。 その上で優先順位を決めてほしい。
委 員		昼の12時台の便を1本出してほしい。
委 員		乗務員の拘束時間（労働基準法上の休息时间）との関係もあるが、アンケート結果で需要が高ければ検討していくことになる。
委 員		Bコースも利用するが、予約をしてから乗車時間が決まるまでの返事を待っている時間が不便に感じる。 定時定路にしてはどうか。
事 務 局		利用実績からすると難しい。
会 長		次に5（4）について事務局から説明願う。
事 務 局		（資料に沿って説明）
会 長		質問等ないか。
委 員		旧秋田市から河辺地域に来る人が、マイタウン・バスのことを知らない。旧秋田市からの意見も必要なのではないか。 また、年代別の調査は必要ではないか。
事 務 局		PR不足については反省している。 インターネット以外の周知方法も含め、今後の課題としていく。
委 員		国際教養大線をうまく利用できないか。
事 務 局		路線バスとは異なるので、難しいと思う。
委 員		戸島や豊成の利用者の中には、日赤病院からの帰りの接続が悪いため、新都市交通広場からタクシーで帰ってくる人もいる。アンケート次第では日赤病院までの延伸も考えるべきではないか。
事 務 局		アンケート項目の主な目的地に日赤病院を入れることとする。
委 員		通学よりも通院を優先したほうが喜ばれると思う。

委員 やはり実際の利用者の声をしっかり掴むべきだ。  
せめて日赤病院までは乗り継ぎなしで行って欲しいという意見はある。

委員 日赤病院まで延伸するとすれば、支障はあるのか。

事務局 路線バスとの競合という問題がある。アンケートでニーズが高ければ、今後中央交通と協議していく後ろ盾になってくる。

委員 マイタウン・バスが地域の利便性向上を図るものであれば、利用者の意見を反映すべきでだ。

委員 接続点を日赤病院にするのも一つではないか。

会長 横山金足線ではなく、横山の旧道を通って日赤病院へ向かえばよいのではないか。

委員 競合の場合は、運輸局でなかなか許可してくれない。

委員 延伸については、他の地域でも要望が出ているので、全市的な問題と捉え今後も検討していく。

委員 多くの人の意見を聞くためにも、アンケートの回収率を上げる方法も検討すべき。

委員 交通センサスのようなきちんとした調査が必要なのではないか。

委員 1回当たり何人乗れば赤字にならないのか。

事務局 1運行当たり起点から終点まで、9人程乗っていただければよい。

委員 岩見三内からの利用者は、和田駅からJRに乗換える人が多いようだ。

委員 現在利用しているのか、今後利用するのか、利用頻度はどのくらいか等も含めて調査した方がよい。

事務局 今後、アンケートの素案を作成し郵送するので、ご意見を願います。

- 協議会終了 -

